

セツキシマブによる過敏反応に対する脱感作療法の実践

1. 研究の対象

2026 年 1 月以降に当院でセツキシマブ脱感作療法を受けられた患者さま

2. 研究の概要

セツキシマブは上皮成長因子受容体(EGFR)を標的とするキメラ型モノクローナル抗体であり、主に大腸がんや頭頸部がんの治療に用いられる分子標的薬です。治療上重要な薬剤である一方、過敏反応の発現により投与継続が困難になることがあり、脱感作療法は治療継続を可能とする手段として期待されていますが、実臨床における報告は限定的です。過敏反応とは薬の点滴中に体調の変化がみられることであり、そのような場合には、あらかじめ使用する薬を追加したり、点滴の速度をゆっくりにしたりするなど、安全に治療を続けるための方法が一般的に行われています。今回の脱感作療法では、これまでの報告を参考に、安全性に配慮した点滴方法を採用しており、院内の審査を受け、通常診療の範囲内で実施しています。本研究はセツキシマブによって引き起こされる過敏反応に対する脱感作療法の安全性および有効性を臨床経過に基づき評価し、その実施可能性と再投与戦略としての有用性を検討することを目的としています。

研究期間:総長の研究実施許可日～2027 年 3 月 31 日(予定)

研究目的:セツキシマブによるアレルギー反応に対する脱感作療法の検討

研究方法:2026 年 1 月以降に当院で脱感作療法を受けられた患者さんの診療録を後ろ向きに調査を行い、セツキシマブ脱感作療法実施の有用性について検討を行います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報:性別、年齢、病歴、抗がん剤の治療歴、副作用等の発生状況、採血データ 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

大阪国際がんセンター 薬局 山本 友佳子(研究責任者)

住所:〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話:06-6945-1181

-----以上